

足柄上支部長 杉山孝史 (S57年卒)

足柄上支部は、旧足柄上教育事務所管内の1市（南足柄市）と足柄上郡5町（中井町・大井町・松田町・山北町・開成町）とで組織しています。神奈川県西部に位置する足柄上地区は、万葉の時代から歌に詠まれる土地柄であり、鎌倉時代には、足柄街道として東西交通の要衝の地として栄えてきました。また、平成28年9月、南足柄市が箱根ジオパークの仲間入りを果たし、大地の成り立ちや人々の歴史・文化を学ぶジオツアーなどが実施されています。

現在、本支部内には小学校17校、中学校9校がありますが、児童・生徒数の減少に伴い、数年前から学校の統廃合が進んでいます。数年後には、さらに中学校1校が減り、全体で8校になる見込みです。また、これまで南足柄市と足柄上郡の校長会は郡市で別々に活動してきましたが、平成28年4月に中学校長会が統合され、平成29

年4月からは小学校長会も統合されることとなります。これに合わせて、教頭会も同じ対応をとることになりました。

会員の状況ですが、平成28年4月現在、校内会員（現役）47名、校外会員（OB）86名の計133名です。平成28年7月27日、松田町におきまして定例の支部総会を開催しました。総会には、友松会会長の芦川弘氏にお越しいただき、ご挨拶をいただきました。その後、平成27年度の活動報告と会計報告が承認され、平成28年度の活動計画について確認しました。

本支部においても、会員の高齢化と会員数の減少が見られますが、引き続き、横浜国立大学の学生や卒業生、現役教員やOB等に総会等への参加を呼びかけ、会員相互のつながりを深めてまいりたいと考えております。



足柄平野越しに富士山を望む